

粕屋町学校給食センター建設に係る住民説明会質疑要旨

【共通事項】

○説明員

因辰美町長、大塚豊教育長、石山裕教育委員会事務局次長、神近秀敏給食センター所長、稲永剛建設準備室主幹

○町長挨拶

寒い中、おいで頂きありがとうございます。

時系列で説明いたしますが、今年1月21日に議会は臨時会において、給食センターの事業契約の締結について、可決いたしました。そして、9月1日に竣工式を行い、建設が始まりました。

私が、町長に替わったことで、当初予算で8千万円が計上され、既に5千万円が先に使われていたことが判明し、そのことを、すぐに議会に報告しました。何故、このような重大なことを、説明もせずに進めているのかと紛糾しました。

この状況を、新聞社が情報を入手し、役場に詰めかけたが、8千万円の費用の問題ではなく、焼却場の跡地に、給食センターを建設してよいのか、子供たちの命・健康・住民からの信頼をどのように説明するのかと論点が変わりました。

マスコミ対応として、共同記者会見を開き、再度内容を調査し、住民の意見や議員の意見も聞いて、総合的に判断したい。ということから、本日、住民説明会を開きました。是非ご意見をお聞かせください。

○概要説明

別添資料により、稲永主幹、石山次長の順で説明。

次ページ以降、各小学校における質疑要旨です。

- ・日 時 平成27年12月19日(土) 14:00~15:30
- ・会 場 仲原小学校体育館
- ・質疑内容

【質問1】

福岡県は土壌に問題はないと言っている中で、廃棄物の上に建設することが危険という判断なのか。

【回答】(町長)

土壌とはゴミ層を除いた部分であり、ゴミ層の下(図で黄色い部分)にある。ゴミ層は地表に近い部分にある。

【質問2】

現在の給食内容を提供するためにかなり古い施設で大丈夫なのか。新しい給食センターを早く建設してほしい。

【回答】(神近所長)

現在の給食センターの衛生面、設備面について回答いたします。

現在、給食センターでは平成26年度は4,650食、平成27年度は4,800食を作っており、平成28年度は5,000食を見込んでいます。

現在の給食センター施設は、昭和58年度に建設・稼働しまして、32年が経過しています。毎年、夏休み等の長期の休み期間を使って設備の保守・点検を行っています。

給食は調理後2時間以内に食べれるように提供しなければならないとされています。現在の設備では肉じゃがなど、調理によっては限界に達しているものもあります。

また、食品衛生法に基づき保健所の検査も毎年受けております。現在の給食センターは大きな1つの部屋で様々な調理をしています。調理ごとに部屋を区切って作業するように指摘を受けているところです。そして現在のウェットシステムからドライシステムへの変更も指摘を受けております。

現体制がいつまでもつかははっきりと言えませんが、努力しているところであります。

【質問3】

保護者として給食があることは大変助かっている。工事を中断することで影響は何か。現給食センターで問題はないのか。保護者は弁当を準備する必要はあるのか。

【回答】(町長)

平成28年9月に供用開始予定が、今からすぐ工事を再開しても11月20日以降になる。移転となれば1年とか2年とかさらに延びる。そうなれば対策が必要であると考えている。

今日はこの場所に新給食センターを建設して良いか否かの意見を伺いたい。ダメだとなれば、別の方法で一日も早く給食提供できるようにしたい。良いとなれば9月には間に合うだろう。

【質問4】

この場所に良いとか悪いとかは判断しかねる。中断したことによって、この先給食停止となれば困る。給食は提供し続けてほしい。

【回答】（町長）

今後の30年を考えて欲しい。ここ半年延びても良いと考えている。すぐに弁当ということにはならない。

【意見5】

夫婦共働きの家庭が多いので、給食停止となった時の弁当は負担が大きい。場所を移して給食は続けて欲しい。ゴミ層の上に食品を作る建物を建てて欲しい。

【質問6】

給食に鉛が入る可能性はあるのか。ゴミ層の上には覆土やコンクリートがあるため入ることはないのではないか。今から土地を探すよりも現地に建設して欲しい。コンクリートの厚みはどのくらいか。

【回答】（稲永主幹）

300～600mmです。

【意見7】

食品とこれから必要となるお金、どちらも大事なことだと思う。総合的に考えてここに建設して欲しい。

【質問8】

給食センターは別の用途は考えられますか。

【回答】（町長）

新給食センターは7,000食を作る機能がある。災害の時の炊き出しなどでもできると考えている。

【質問9】

過去に水災害が起こったことがあるような場所にそのような用途を考えているものを作っても良いのか。別の安全な場所に作った方が良いのではないか。

【回答】（町長）

多々良川と猪野川が合流する場所であり、県内有数の危ない場所である。給食センター敷地は高いので問題ないが周囲は浸水する。平成21年の大雨の時は巡回している消防車が水に浸かって動かなくなった例もある。

【質問10】

そのような土地に建てるべきではないと思う。お金はどのくらいかかっているのか教えて欲しい。移転する場合の金額はどのくらいかかるのか。他に候補地はあるのか。上の土壌汚染はあったのか。

【回答】（町長）

汚染はあった。8か所中2か所から出てきた。お金は6,000万円くらい使っている。建設費は全部で20億である。次の候補地は決まっていない。

【質問 1 1】

覆土の中に汚染物質があるのか調査して欲しい。

【回答】(町長)

モニタリングをしており、空気中に汚染物質はない。

【質問 1 2】

ネットで調べたが、第1種特定有害物質とは揮発性の物質で、第2種特定有害物質とは重金属で、第3種特定有害物質とは放射性物質と載っていた。この場所で検出された鉛は、第2種特定有害物質で鉛は溶け出さない物質である。封じ込めれば流失しない。そのようなことで前町長は判断されたのではないか。今の町長のパフォーマンスにしか聞こえない。これまでの給食センターも否定することになるのではないか。全て考えた上での中断だったのか。改めて着工という流れにできないのか。

【回答】(町長)

工事を中止した訳ではなく、一時中断している。皆さんの意見を聴きたいので説明会を開いている。パフォーマンスではない。場所を変えたほうがよいと個人的には思っている。安全が確認できれば問題ないが、このまま進んでよかったのか皆さんの声が聴きたかった。

【質問 1 3】

安心安全の対策をして欲しい。

【回答】(町長)

弁当優先ではない。できるだけ迷惑をかけないようにやっていきたい。対策をするよりも安全な場所に建てるのが良いと考える。

【意見 1 4】

給食センターは子供の口に入る食品を作るところなので安全が一番。問題が起こる可能性があるものは避けるべき。食品関係の仕事に携わる人に意見を聞くとゴミの上に建設することは止めると言う。

(教育長)

安心安全な給食を提供するために早急に給食センターが必要である。早くしないと弁当を準備してもらわなくてはいけなくなる。

(町長)

移転すると弁当になるということが前提ではない。

【質問 1 5】

弁当にならないような対策も考えて欲しい。

【回答】(町長)

ゴミの上に給食センターを建てるという風評被害が考えられる。粕屋町は人口が増加しているがこれから増加が見込まれないかもしれない。今、粕屋町は評判がいい。総合的な見地から判断したい。

【質問16】

中止した場合はどの段階まで遡るのか。

【回答】（町長）

今日は建設場所がこの場所で良いのか悪いのかを聞きたい。自校方式は考えていないし、事業方式はPFIのまま。

- ・日 時 平成27年12月19日(土) 17:00~18:30
- ・会 場 大川小学校体育館
- ・質疑内容

【質問1】

土壌部分は問題ないとの説明だがどの部分を調査したのか。

【回答】(石山次長)

建設予定地の地盤調査をした。

【質問2】

町民がダメといえど中止するのか。やめた場合契約はどうなるのか。一度議会で承認されたことを変えることはどうなのか。

【回答】(町長)

総合的に判断して決める。意見を聴きたい。

【質問3】

隣にある現給食センターは大丈夫なのか。ここに建てたら大丈夫なのか。ここに建てた場合のメリット・デメリットは何か。この説明会で判断するのは難しい。もっと判断材料が必要である。

【回答】(町長)

空気中に汚染物質の飛散はないが、下にゴミ層がある。現給食センターは30年間大丈夫だったこともある。多々良川と猪野川が合流する場所であり、県内有数の危ない場所である。給食センター敷地は高いので問題ないが周囲は浸水する。平成21年の大雨のときは巡回している消防車が水に浸かって動かなくなった過去もある。

【質問4】

粕屋町は子供が増えている。古くなっている施設で増えている食数に対応できるのか。そのことを考えて判断して欲しい。共働きの家族のことも考えて欲しい。弁当は負担になる。

【回答】(神近所長)

現在の給食センターの衛生面、設備面について回答いたします。

現在、給食センターでは平成26年度は4,650食、平成27年度は4,800食を作っており、平成28年度は5,000食を見込んでいます。

現在の給食センター施設は、昭和58年度に建設・稼働しまして、32年が経過しています。毎年、夏休み等の長期の休み期間を使って設備の保守・点検を行っています。

給食は調理後2時間以内に食べれるように提供しなければならないとされています。現在の設備では肉じゃがなど、調理によっては限界に達しているものもあります。

また、食品衛生法に基づき保健所の検査も毎年受けております。現在の給食センターは大きな1つの部屋で様々な調理をしていますが、調理ごとに部屋を区切って作業するように指摘を受けているところです。そして現在のウェットシステムからドライシステムへの変更も指摘を受けております。

現体制がいつまでもつかははっきりと言えませんが、努力しているところであります。

【回答】(町長)

弁当のことなど保護者に負担がないように考えている。

【質問 5】

町議会での議決は土壌の検査結果が出てからされているのか。法律上問題ないとはどういうことか。

【回答】(町長)

多くの議員は「土壌」という認識を間違っていると感じる。地上から下は全て土壌と思っていたのではないか。上に建つものが駐車場や倉庫であれば問題ないと考えている。

【回答】(稲永主幹)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)に基づき行っている。地下水、ガスの事前調査とモニタリング、施工前・中・後もモニタリングを行うなど、環境保全計画に沿って行っていく。土壌汚染と廃棄物それぞれに法律があります。

【質問 6】

粕屋町は子育てしやすいまちづくりに積極的に取り組まれてきた。これから不安が出てきて、イメージが悪くなってくる。このような視点でも判断して欲しい。財政のことも考えていただきたい。

【回答】(町長)

ゴミの上に給食センターを建てるという風評被害が考えられる。今、粕屋町は評判がいい。粕屋町は人口が増加している。自然増もあり、社会増もある。基礎部分のごみの搬出に8,000万円かかる。先日、記者会見を行った。これまでの事実を話した。また、記者会見を開く。

【質問 7】

面積はどのくらいですか。地下水への流出はあるか。

【回答】(町長)

約7,000㎡。地下水へ流出はしていない。

【質問 8】

鉛が人に与える影響は何か。脳に影響があると聞いたことがある。続けるにも何か対策をしてもらいたい。

【回答】(町民)

全てのゴミ層を取り除くとなると相当な費用が必要になる。

【質問 9】

廃棄物はどのくらい経過すれば害がなくなるのか。ガスは発生していないのか。

【回答】(稲永主幹)

50cm以上の覆土又は3cm以上のアスファルトをすれば問題ない。ガスは発生していない。

【質問10】

給食がストップすることなく、移転できる候補地があるのか。

【回答】(町長)

候補地はこれから考える。住民、議会の意見を聴いて決める。

PFI事業方式が問題ではなく、場所の問題である。中止になると違約金6億7千万の違約金が発生する。それに加え現段階で終わっている工事に対する費用を支払わなければならない。

【質問11】

土壌汚染の範囲を図面などでわかるようにしてほしい。全体の概要を知りたい。

【回答】(町長)

場所は現給食センターの隣で、面積は約7,000㎡。

【意見12】

土地を探して何も心配ない土地に建設してほしい。

【回答】(町長)

ご意見ありがとうございます。

【質問13】

子どもたちが口にするので安全を一番に考えて欲しい。今日の資料が分かりにくい。悪いところが分かりにくい。住民に分かりやすい資料を準備して欲しい。

【回答】(石山次長)

工事内容の説明ではなかったため、資料が不十分であった。今後ホームページ等で公開していきたい。

【質問14】

どこにどんな建物を建てるのか。

【回答】(町長)

平成26年6月、平成27年6月の町広報にイメージ図、着工時期、供用開始時期等を掲載しています。

【質問15】

再説明はあるのか。

【町長】

ない。年内に判断をしたい。将来の方向性を考え、企業にも迷惑がかからないように総合的に判断したい。

○日 時 平成27年12月20日(日) 14:00~15:30
○会 場 粕屋西小学校体育館
○質疑内容

【質問1】

現在の給食センターは老朽化しています。衛生面でも基準以下であると聞いている。今回、建設が延期された場合、現在の給食センターで給食を作り続けていくことになると思いますが、そこで質問です。

現在の老朽化した給食センターで給食を作り続けていくことは、衛生面上問題があるのでは？

どれくらい新しい給食センターが延期されて、どう影響がでるのか？

県が土壌調査の結果を可とする判断を受けているのなら、このまま進めていいのではないか？

【回答】(町長)

今日は給食センター所長が来ておりますので、回答します。

【回答】(神近所長)

現在の給食センターの衛生面、設備面について回答いたします。

現在、給食センターでは平成26年度は4,650食、平成27年度は4,800食を作っており、平成28年度は5,000食を見込んでいます。

現在の給食センター施設は、昭和58年度に建設・稼働しまして、32年が経過しています。毎年、夏休み等の長期の休み期間を使って設備の保守・点検を行っています。

給食は調理後2時間以内に食べれるように提供しなければならないとされています。現在の設備では肉じゃがなど、調理によっては限界に達しているものもあります。

また、食品衛生法に基づき保健所の検査も毎年受けております。現在の給食センターは大きな1つの部屋で様々な調理をしていますが、調理ごとに部屋を区切って作業するように指摘を受けているところです。そして現在のウェットシステムからドライシステムへの変更も指摘を受けております。

現体制がいつまでもつかははっきりと言えませんが、努力しているところであります。

【回答】(町長)

保護者の皆様には給食が提供できず、弁当を持参するということがないように考えているところです。

次長が説明しました土壌の断面図ですが、議会への説明の際には提示がありませんでした。

県がいう「土壌」とは廃棄物層の下、図でいう黄色い部分より下を指すのだそうですが、町議会では単に土壌という説明であって、議員は地面から下の全てを指すのだらうという理解だった。その土壌を34か所チェック済みであり、県からも了解を得ているという議会説明であった。

そこに、次の当初予算で廃棄物処理の8,000万円計上ということで、議会に説明をしてきたという経緯があります。

風評被害も恐れているところです。粕屋町は町民が増加している町、人気のある町です。今回のことがマスコミにも出ました。皆様のご意見を拝聴し参考とさせて

いただき、議会への説明もしていきたい。

給食センター建設の遅れが若干はあると思いますが、移転ありきではありません。候補地もありません。弁当を持参するということがないように考えていきたいと思っています。

【質問 2】

建設地をどこにするか最終判断はどうやって決めるお考えか？議会への説明だけで決められるのか？

【回答】（町長）

子どもたちの食に関わることです。1～2か月の遅れを気にし過ぎず、将来のことを考え、総合的に判断していきたい。ただし、方向性はなるべく早く判断して、議会にも説明していきたいと考えています。

【質問 3】

今の町長の説明では議会で決めるということですか？今日は話を聞くだけで、住民意見はないのですか？

【回答】（町長）

住民の方々にはいろいろなご意見があると思いますが、住民投票になりますと相当な時間がかかると思います。皆さんの中で想いがあるという方はぜひ議員さんに託してほしいと思います。

【質問 4】

県が調査結果を「可」としていることに対しては、町長はどうお考えか？

【回答】（町長）

県は「土壌が基準値以下であれば、土地の使用は可能」としているが、何を建てるのかは町の判断と考えています。駐車場や倉庫にするのであれば問題ないと思いますが、事故が起こることもあり得ますので、給食を作る施設を置くというのはどうかと考えています。何か起こっても県は責任を取りません。

【質問 5】

事故が起こることを心配と言われるが、管理処分場まで持って行っているのなら大丈夫なのでは？

【回答】（町長）

今は基礎部分で8千万円ですが、廃棄物層全てを対象に処分すれば推計で14億円かかります。

コンクリート敷きにはしますが、時間の経過によりコンクリートが割れれば、下から上がってくることもあり得ます。

【質問 6】

14億円というのは、全ての土壌を入れ替えたときにかかる金額ではないのですか？土は全部入れ替えないといけないのか？

【回答】（町長）

こういった状況ですので、住民の方の中には全て入れ替えて欲しいという方も当

然いるかと思われます。

【意見 7】

今回の給食センター建設については、現在の因辰美町長が議員の時に地元説明会があり話を伺いました。

皆さんに尋ねますが、もし自分の家のごみ処分場の跡地に30年ローンで建てられるとしたらどう思いますか？まして、それが給食センターであったなら。

また、場所的に、あの場所は集中豪雨で河川氾濫地域になっており、災害時の避難・拠点地域になっています。そういう場所に建てるのは危険と思います。建設地については、じっくりと考慮して候補地を決めて欲しい。

今、中止して、2～3億円が無駄になるかもしれないが、30年先にこの場所で「良かった」と言えるようにして欲しい。

【質問 8】

今回の建設地について、ごみ処理場の上というイメージが悪いということだけで決めていいのか？

自分でもいろいろと調べてみたが、第1種特定有害物質の11種類は揮発性で、年々蒸発して減少していくもの。第2種特定有害物質の9種類は危険なものもあるが、鉛は水道管として過去に使用されていたものです。今回なぜ県が廃棄物層の下を調査するように指導したかといえば、それは鉛などが溶け出していないか調査すべきと考えたからです。そして結果は大丈夫でした。

全国的にもこういった場所に保育園や児童公園を建てているところはあります。そこでは影響がないように対策をして建設をしている。粕屋町においてもそうすればよい。

風評被害についても、そう長い期間あるとは思わない。それよりも現在の給食センターの老朽化による給食での影響の方が大きいと思う。

因辰美町長においては、これまでの議員としての見方ではなく、町長として、これまでの町職員の進めてきた経緯、工事業者のことを考えていただきたい。

質問であります、延期によりかかる費用はどれくらいか？また違約金や別の場所に建設すると調査・検査にいくらかかるのか？

【回答】(町長)

議員レベルで言っているのではなく、町長としての判断であるからこそ一時中断という決断をしたところです。

違約金ということですが、工事に係る67億円の1割、つまり6.7億円が違約金となります。この違約金が発生しないような方向性・対策を見つけて進めていきたいと考えています。

【質問 9】

現在の工事代、代替地やそこへの水道敷設などの費用はそれくらいでしょうか？担当者の方から聞きたい。

【回答】(稲永主幹)

違約金を除いて、これが全額という訳ではありませんが、現在の工事では出来高として3億5千万円ほどかかっています。

他の候補地での費用については具体的に決まってない状態で金額の回答は難し

い。ただし、億単位の話ではあると思います。候補地として、先ほど話があったように、ぼた山であれば調査費用もかかってくるかと思っています。

【意見10】

これからの費用は町民の借金になるものです。十分に考えていただきたいところです。

【質問11】

1人の保護者として参加しましたが、実際に給食がストップして弁当持参となった場合のことについてです。

質問の1つ目は、工事延期となった場合に弁当持参をする期間はどれくらいになるのか？

2つ目は、他の場所に建設となった場合、現在の給食センターで調理し続けると思うが現在の給食センターの調理可能な食数を超える食数が必要となったときはどのような対策を考えていますか？

【回答】(町長)

まずは、できるだけ保護者の方々にご迷惑をかけないようにと考えています。給食センターを持たずに配食するという手段もあります。対応策を考えていきたいと思っています。

【質問12】

他の場所に建設するとなった場合は、どれくらい先に稼働となるのか？

【回答】(稲永主幹)

設計からやり直しになりますので、おおむね3年くらいはかかると思われれます。

【回答】(町長)

今の給食センター建設の設計をそのまま使用するなどして建設にかかる期間を短くしていきたいと考えています。既に建設材料も準備しているため、それを使用できるようにするなど工夫していきたい。

【意見13】

弁当を持参することとなった場合、例えば、家庭によっては弁当を持って来れない子、コンビニの弁当を持ってくることとなる子など発生しないかが心配です。そういうことも考慮して欲しい。

ぜひ、給食を提供してもらえるようお願いいたします。

【質問14】

弁当持参の件を具体的に説明して欲しい。今日は、その話を保護者は聴きにきている。

【回答】(神近所長)

糟屋地区内をみますと、新宮町、須恵町、宇美町の中学校では配食としてしているところもあります。これは業者がお弁当を作って生徒数を学校に届けるものです。このような対応策もあります。

【質問15】

弁当の配食となった場合、一食当たりの負担が上がるのでは？

【回答】（町長）

弁当持参とならないようにしていきたいし、配食となった場合でも、保護者の方々の負担増とならないように検討していきたい。

【質問16】

検討すると言われるが、その答えはいつごろ分かるのか？

【回答】（町長）

現在は工事を一時中断して、どのようにすべきか判断するための期間としています。保護者の方々にご迷惑をかけないようにしていきたいと考えています。

【質問17】

現在、工事が一時中断している状況で、給食が出ない日がいつか来そうだと考えてしまいます。保護者としてはそこを詳しく説明して欲しい。町内の児童生徒の人数分の弁当を用意できる業者はいるのか？

【回答】（町長）

現在の給食センターが使用できない訳ではありません。今後もメンテナンスにより2～3年使用できるかもしれません。それでもやはり難しいとなれば、配食の可能性を探ることとなります。

現在、この粕屋西小学校で3校目の説明会ですが、給食のご要望は受けとめています。弁当の業者の件は調べさせます。

【意見18】

全体に文面で分かるようにして欲しい。

【質問19】

現在の給食センターの調理についてですが、今年もおかずの一部の提供ができず、ごはんにふりかけ程度といったことが3回ほどあったと思います。将来のことも心配ですが、現在の給食センター、今の子どもたちのことも心配な状況です。

【回答】（神近所長）

おかずの一部の提供ができないことがあったのは昨年のことですが、その際は、大変ご迷惑をおかけいたしました。

給食センターとしては、点検を夏休みなどの長期休みを利用して実施し、設備面の維持向上を図っています。

また、職員でも毎日点検や清掃を実施しており、今後の安全安心な給食の提供に努めているところです。

【質問20】

子どもの人数が増加している現在、そのことも踏まえて議論してほしい。

【回答】（町長）

食の安全を第一に考え、なるべく早く結論を出したいと考えています。

【意見 2 1】

このような説明会を開いていただき大変ありがたく思います。今日は町長さんや教育長さんも来られており、私たちの意見を聴いていただける場所と思って参加しています。

皆さんのご意見や質問は大変参考になります。しかし、質問の場合、この場で町長さんが早急に答えられると、またその回答にしばらくしてしまわないかと思えますので、この場では意見を申し出て、それを持ち帰って検討していただきたい、そういう場だと思えます。

今回の給食センターの問題ですが、処理費用の予算計上を予定していることで問題となり工事中断に至り説明会ということですが、本来は、廃棄物が出てきたときに説明会を開いて欲しかったです。

町政のことは議員さんに託しており、私たちが選挙で選んだ方々がやってきたことであり、住民の方で、選挙には行かずこういったときだけ文句を言うのはおかしいと思えます。

町長さんの発言では、「子育て支援の町」というアピールや粕屋町に転入してくる方々のことを気にしすぎているように感じます。移転することにより弁当がどうのこうのと言うくらいなら、今の場所にと早く言いたい。

現在いる町民のことを重点に考え、結論を出していただきたいと思い、意見いたします。

○日 時 平成27年12月20日(日) 17:00~18:31
○会場 粕屋中央小学校体育館
○質疑内容

【質問1】

なぜ、早く調査しなかったのか？

【回答】(町長)

平成25年に、町が任意で調査を行い、8か所中2か所で「鉛及びその化合物」が出た。県は「黄色い部分から下の土壌を調べなさい。」と。地表から下が土壌だと思っていた。

【質問2】

土地を決めた後に平成26年に調査。なぜ、土地を決める前にしなかったのか？数値は調べなかったのか？基準値内だからいいと。時間が経てば経つほど変化する。

【回答】(町長)

平成25年はいなかった。場所の選定は行政がやっている。今の担当者もいなかった。分かりません。資料P5、議会への説明時にイメージ図はなかった。

【質問3】

検査は素人だった？一部のみでいいと？法律上問題ないと？廃棄物あっても下になかったらいいと？廃棄物中に基準値以上のものがあったらいいと？県の指導はそんなもん？

【回答】(稲永主幹)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)に基づき行っている。地下水、ガスの事前調査とモニタリング、施工前・中・後もモニタリングを行うなど、環境保全計画に沿って行っていく。土壌汚染と廃棄物それぞれに法律がある。

【質問4】

調査上問題ないといっても、子どもたちの口に入る物の近くに汚染物質があることは間違いない？

【回答】(町長)

はい。

【質問5】

そういう所に建設するのは、親の立場からどうかと。

【回答】(町長)

廃棄物層の中に汚染物質が残っている。そのような中で、このまま建てていいのかという議論をお願いしたい。

【質問6】

前町長時に、公正な議会で可決成立したのが現実。これを覆すには、議会の過半数あれば修正案通るのか？3分の2？

【回答】(町長)

当初予算に8千万円の処理費が上がってきた。そのことは、議会知らなかった。

このままでは議会通らないだろうと思い、説明した。議会終了後、合同記者会見をし、住民の意見を聴かせてくださいと。マスコミに待ったをかけている。NHK 2 番目に報道された。それくらい重要な問題。情報をオープンにして開示したい。そういうことで、今日の説明会に至っている。

【質問 7】

現に走っている事業を元に戻すには？議会？昨日今日の説明会の人数だけでは不足。住民投票？

【回答】(町長)

採決した議案を戻せるか調査していきたい。

【質問 8】

地方自治法には書いてない？

【回答】(町長)

早速、議会事務局に調べさせる。今回のことは、PFI か否かの問題ではなく、用地のことが問題に。工事中断は、企業にも迷惑をかけている。方向性は少しでも早くはっきりさせたい。このまま工事進めて、いざ中止となれば、さらに損失が出る。そのため、一時中断している。

【質問 9】

中断の期間は？

【回答】

まだ分からない。年内にでも、皆さんの意見を参考にしながら。安全・安心のまち。マスコミ・住民興味深く注目している。マスコミがどう判断し、報道するのか。30年、40年と続く施設なので、議会の意見も十分に聴きながら判断したい。

【質問 10】

マスメディアも分かるが、土壌の問題なので、科学的・専門的知識を持った有識者会議を開いて、その意見も参考にしては？

【回答】(町長)

現在の給食センターの老朽化に伴い、時間的な問題も考慮しないと、企業にも迷惑がかかる。

【質問 11】

子どもの口に入るもの。親として安心できない。廃棄物を全て撤去できないのか？

【回答】(町長)

廃棄物全部のければ14億円かかる。

【質問 12】

別の場所へ建設するのと比較すると費用がよりかかるのでは？

【回答】(町長)

比較については、今後調査していく。全部廃棄物を撤去することが基本と思う。県は土壌部分での判断。途中の廃棄物の議論は議会の中でもなかった。

【質問 1 3】

P F I の方が、5 億 8 千万円の経費節減の効果があるとのことだが、代替案、別の土地、廃棄物処理など、改めて住民へ説明をお願いしたい。

【回答】（町長）

P F I の軽費削減効果は、運営面でのことです。当時、借金が多すぎて、P F I 方式は分割方式。県の許可、単独では建てられなかった。

【質問 1 4】

開示すべき。予定どおりだとどうなる、移転すればどうなるかの説明は必要。

【回答】（石山次長）

すぐには金額出ません。今後、ホームページ等で公開していきます。

【質問 1 5】

これまでかかった工事費用どれくらい？ 違約金は？

【回答】（石山次長）

基本部分 6 千万円。外に人件費、調達した材料費、少なめでも 3 億 5 千万の見込み。違約金は契約額の 1 0 分の 1。6 7 億円だから、6 億 7 千万円。合わせて、1 0 億円は超える。

【質問 1 6】

P F I 方式である会社は？

【回答】（石山次長）

東洋食品。

【質問 1 7】

どう選定？ 抽象的に言われても町民は分からない。広報で詳しく説明を。どんどん膨らんでいく、このままだと。

【回答】（石山次長）

その都度公開している。委員会は、5 人の学識経験者で選定している。1 5 年間契約で約 6 7 億円。年間、約 5 億円。必要ない工事、必要な工事あると思う。土の入替は、今はっきり申し上げられない。

【質問 1 8】

今回、心配で 3 か所参加した。P 6（揮発性物質等の説明）、鉛・フッ素身近なもの。大量に入れると有害。水道管にも使われていた。水にも溶けない。法律のよる基準は、大学の先生や有識者含めて長年かけて作った数字。溶けだしていない。保育園の園庭や児童公園など、対策をとった上で建設されている。スライディング、寝転んだりする場所でも、対処して、そのまま使われている。現在の給食センターだと、ごはんにつくだにだけの給食もあった。中国産が入るかもしれない。仲原小と西小で、弁当のこと出ていた。違約金払う。代替地、調査する、何億かかる？ 未来の子どもたちへのツケとなる。私たちの福祉や教育など我慢しないといけなくなる。2～3 年、危ない給食センターでいく？ これからの転入者のダメージよりも、今いる住民のことを考えてほしい。他の会場より、後ろ向きの発言が多かったので、

発言した。

【回答】(町長)

一意見として聴かせていただきます。

【質問19】

調査の結果、問題ないと。今の場所に給食センターとなれば、健康被害あるのか、ないのか。

【回答】(町長)

今から、判断しないといけない。長いスパンでの判断が必要。皆さんの意見を聴いて。専門的なことなどを踏まえ、今から判断していく。

【質問20】

基礎コンクリートの厚さは？

【回答】(稲永主幹)

30センチから60センチです。

【質問21】

可燃ガス対策は？

【回答】(稲永主幹)

環境保全計画においてメタンガスも調べている。1.5%以下なら大丈夫。今の場所で0.6%。絶対はないので、杭工事では火器使用しないなどの相応な対処はしている。

【質問22】

ゴミを一旦、掘削すると、活発になることも。ガス抜き対策は？

【回答】(稲永主幹)

今のところ、数値上問題ない。しかし、施行前・施工中・施工後調べていく。モニタリングを建設後2年間。もっと長くすることも検討している。

【質問23】

どのくらいのゴミ？量は？

【回答】(稲永主幹)

全数量で3,500トンの見込み。法律上全部とは求められない。極力、量は少なく済むように。

【質問24】

管理処分場は、熊本しかない？

【回答】(稲永主幹)

県内にもあるが、残容量がないのでできない。西松の分が熊本で、九電工の分は大分へ。処理費用は同額です。

【質問25】

9月の起工式の前に、この状態分かっていた。議会への報告がなかったと。起工式前に分からなかったことが問題。5千万円～8千万円議会への報告もなく使って

いいのか？行政側の体質に不信感を感じる。

【回答】（町長）

町長就任後、議会对策として石山次長に人事異動し、予算が発覚したので、事前に報告し説明をした。その後で、マスコミに情報が流れたのかと思います。